



2022年8月8日

各 位

会社名 ローランド株式会社  
代表者名 代表取締役社長 ゴードン・レイゾン  
(コード番号: 7944 東証プライム)  
問合せ先 取締役 CFO 杉浦 俊介  
(Tel. 053-523-0230)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表した2022年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●連結業績予想の修正について

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年2月10日発表)	百万円 85,000	百万円 11,600	百万円 11,700	百万円 8,700	円 銭 316.75
今回修正予想(B)	92,400	12,400	12,500	9,800	357.58
増減額(B-A)	7,400	800	800	1,100	—
増減率(%)	8.7%	6.9%	6.8%	12.6%	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	80,032	11,093	10,102	8,586	312.73

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しています。前期実績につきましては、当該会計基準等適用前の数値となります。

#### 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、継続的な半導体調達難、材料コストや海上輸送費の高騰に加え、中国ロックダウンによるサプライチェーンの混乱、ロシア・ウクライナ情勢の長期化など、多くの外部環境変化がありました。このような環境下当社は、新しいLifestyleの定着を背景とした電子楽器需要の増加に対応すべく、迅速な経営判断による材料確保や、コストアップに対応した価格適正化に取り組み、中国やロシアでの販売減少を他の地域でカバーすることで、当第2四半期連結累計期間の連結業績予想を達成いたしました。

第3四半期以降においては、積極的な部材調達や労働力確保を背景とした増産により、コロナ前より一段切り上がった販売水準に対する供給に一定の目途が立ったこと、また実勢為替レートが期初の想定為替レートより大きく変動していること等を踏まえ、通期連結業績予想を上方修正いたします。

なお、当第2四半期連結累計期間における、当社業績へ影響を与える主要な通貨ペアの実勢為替レートは、1米ドル=122.90円、1ユーロ=134.30円、1ユーロ=1.093米ドルであり、第3四半期以降の想定為替レートは、1米ドル=130.00円、1ユーロ=137.00円、1ユーロ=1.054米ドルとしています。

(注) この資料に記載しております業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上